

4.【敷地近傍（II）】岩内平野西部で実施したボーリング調査結果

【調査概要】

- 岩内平野西部においてボーリング調査（梨野舞納地点（露頭調査結果を含む）及びH26共和-1～H26共和-7地点）を実施した。
- 各地点のボーリングコア写真及び柱状図の掲載頁は以下のとおり。

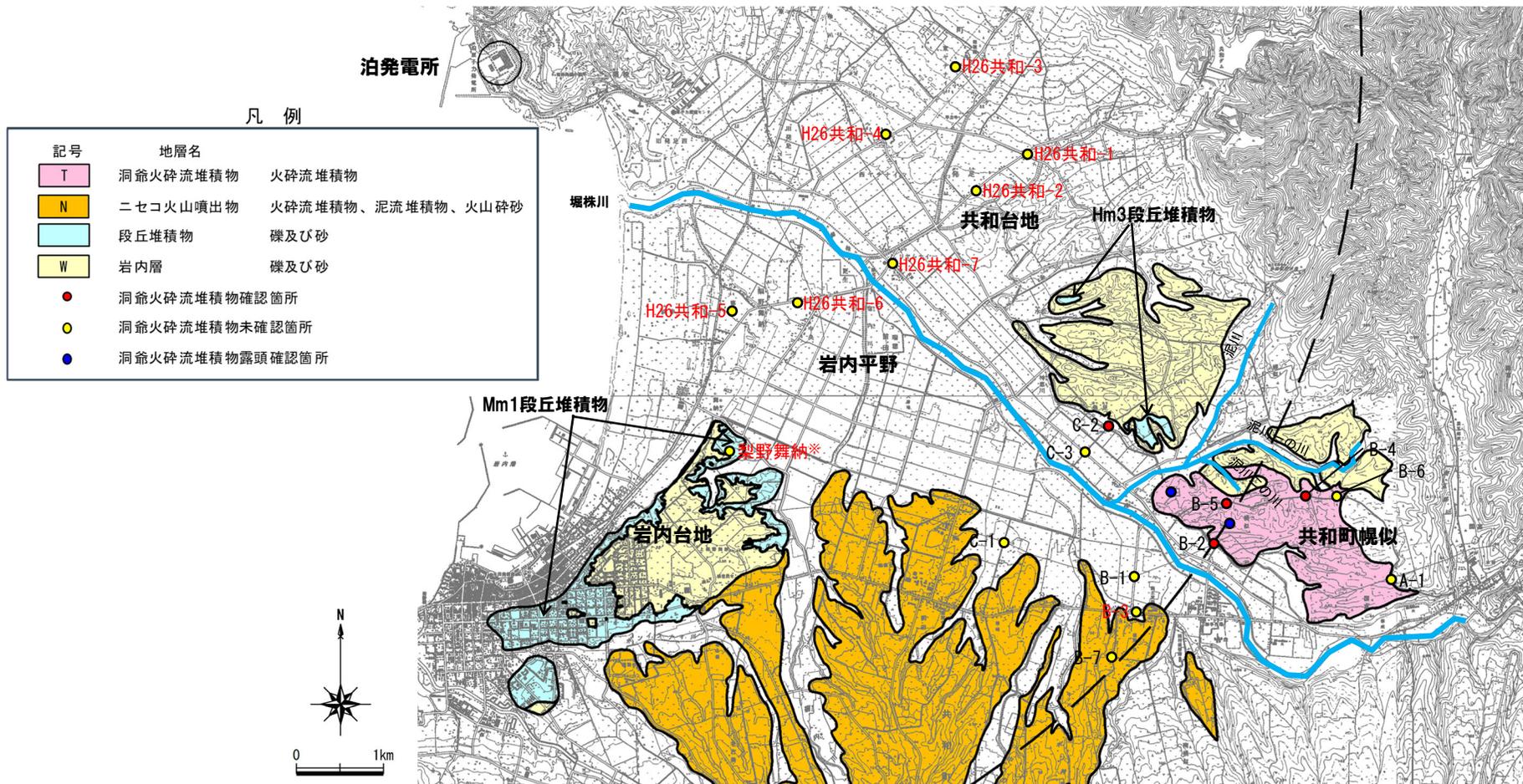
- ・梨野舞納地点（露頭調査結果を含む）： P175～P181
- ・H26共和-1： P182～P186
- ・H26共和-2： P188～P193
- ・H26共和-3： P194～P199
- ・H26共和-4： P200～P205
- ・H26共和-5： P206～P211
- ・H26共和-6： P212～P217
- ・H26共和-7： P218～P223

- 岩内平野西部においては、梨野舞納露頭に認められる降下火砕物由来である火山灰質砂質シルトは認められるが、これ以外に、火砕流堆積物も含め、主に火山砕屑物からなる堆積物は認められない。

4. 【敷地近傍(II)】岩内平野西部で実施したボーリング調査結果

【調査位置図】

一部修正 (H28/2/5審査会合)



調査位置図

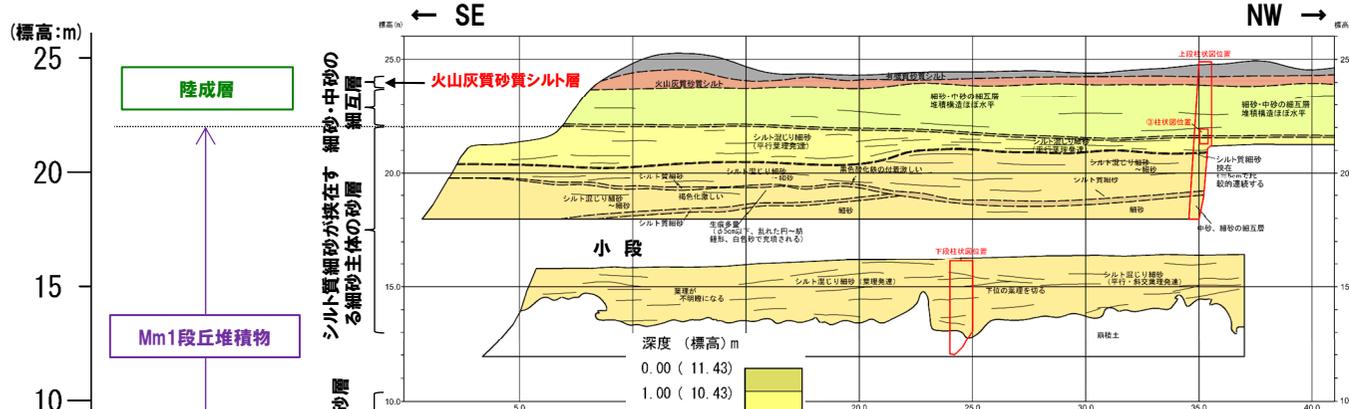
※梨野舞納地点で実施したボーリング調査位置と同位置において露頭を確認しており、その露頭では、火砕サージ由来か降下火砕物由来かを厳密に区分することは難しい洞爺火山灰(Toya)の火山ガラスを多く含む堆積物を確認している。

余白

4. 【敷地近傍 (II)】岩内平野西部で実施したボーリング調査結果

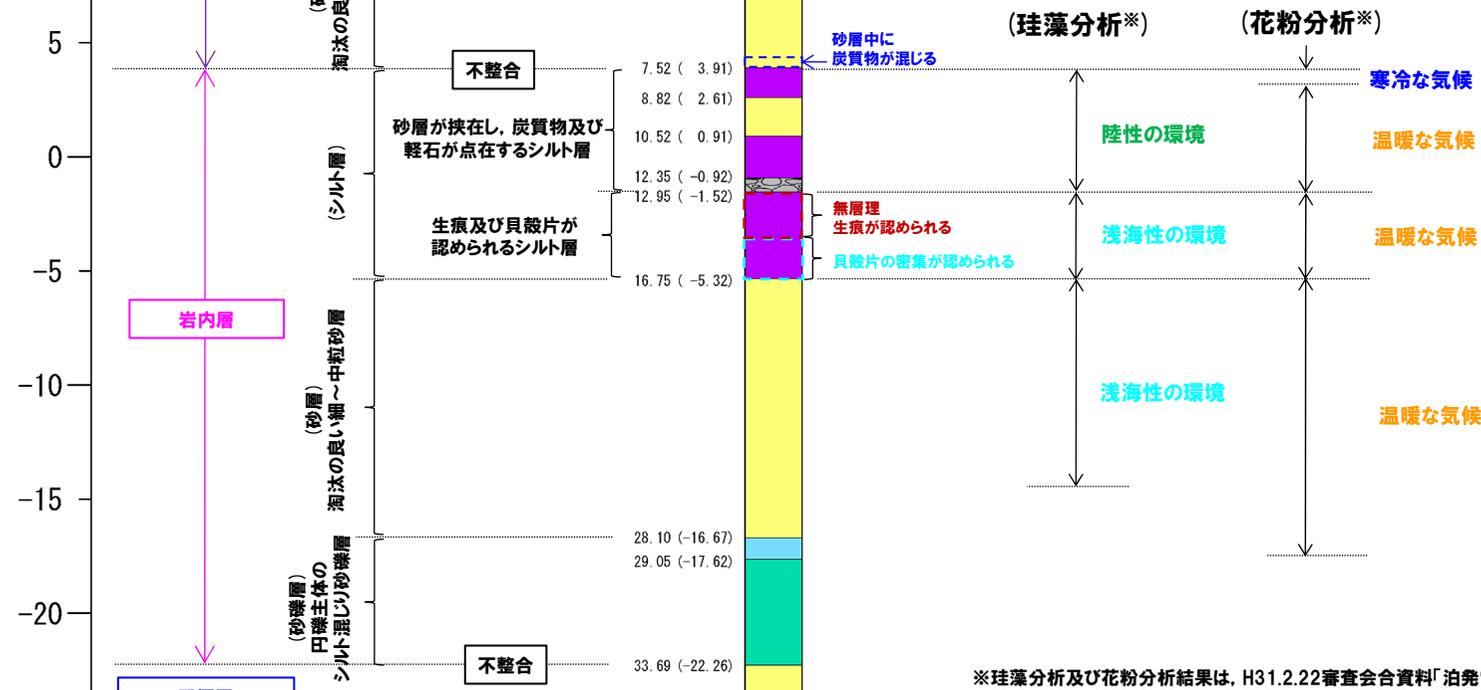
①-1 梨野舞納地点 (露頭写真, スケッチ及び柱状図) (1/3)

一部修正 (H31/2/22審査会合)

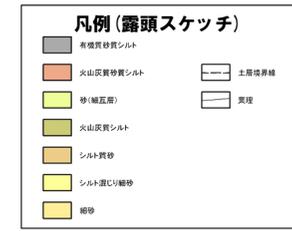


梨野舞納地点状況写真

梨野舞納露頭スケッチ



梨野舞納ボーリング柱状図 (深度: 0~35m, 標高 11.43~23.57m)



※珪藻分析及び花粉分析結果は、H31.2.22審査会合資料「泊発電所地盤(敷地の地質・地質構造)に関するコメント回答(Hm2段丘堆積物の堆積年代に関する検討)」参照。

4. 【敷地近傍(II)】岩内平野西部で実施したボーリング調査結果

①-1 梨野舞納地点(露頭写真, スケッチ及び柱状図)(2/3)

一部修正 (H29/3/10審査会合)

← SE

NW →

標高: 25m

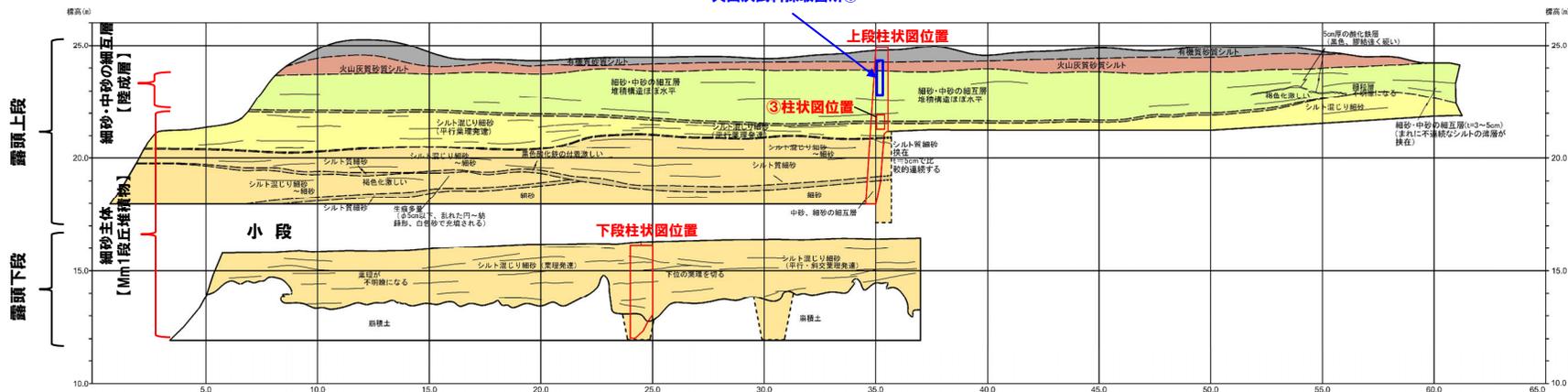
標高: 20m

標高: 15m

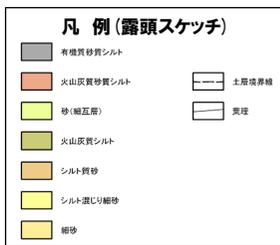


梨野舞納露頭写真

火山灰試料採取箇所①



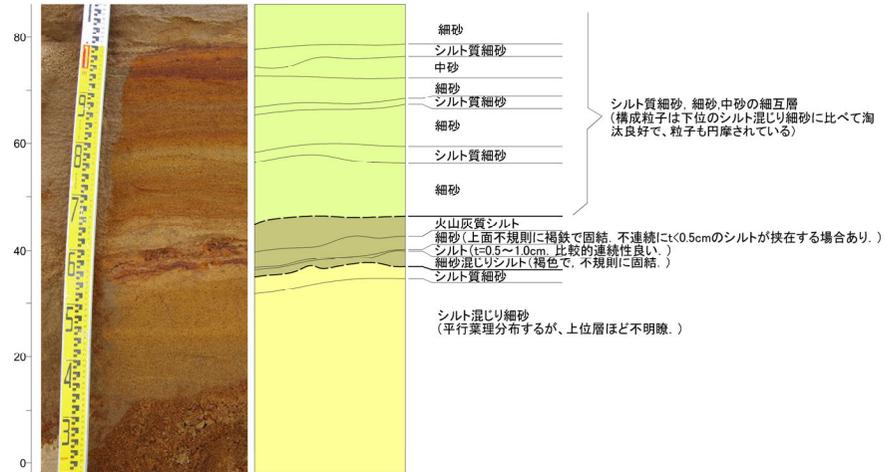
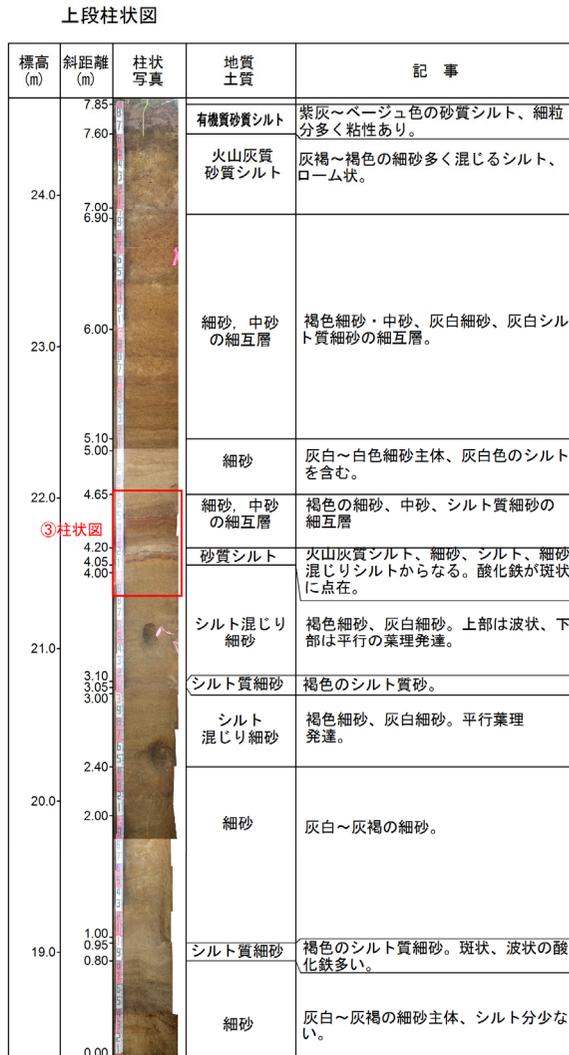
梨野舞納露頭スケッチ



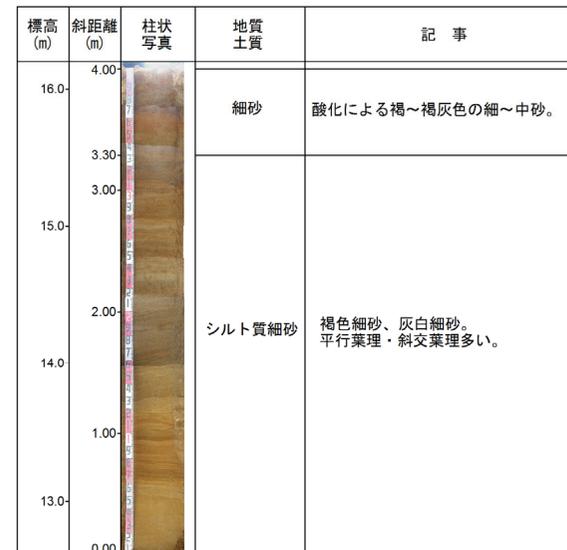
①-1 梨野舞納地点(露頭写真, スケッチ及び柱状図)(3/3)

再掲(H29/3/10審査会合)

③柱状図



下段柱状図

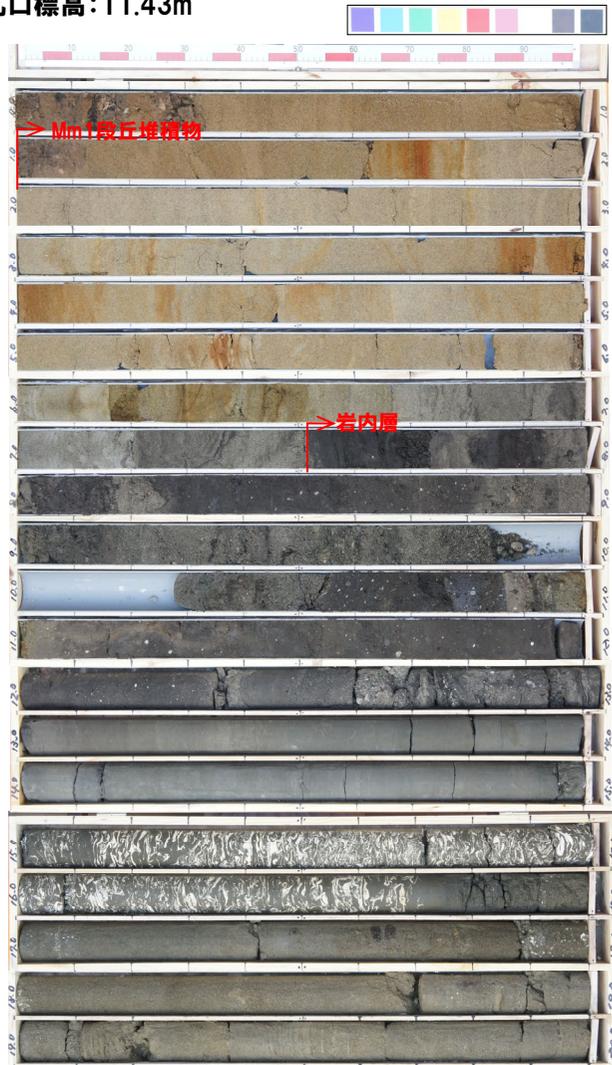


梨野舞納露頭スケッチ 拡大柱状図

①-2 梨野舞納地点 (ボーリングコア写真)

一部修正 (H27/5/29審査会合)

孔口標高: 11.43m



コア写真 (深度0~20m, 標高11.43~-8.57m)



コア写真 (深度20~40m, 標高-8.57~-28.57m)

4. 【敷地近傍(II)】岩内平野西部で実施したボーリング調査結果

①-3 梨野舞納地点 (ボーリング柱状図)

一部修正 (H27/5/29審査会合)

梨野舞納 孔口標高 11.43m 掘進長 100.00m

Mm1段丘堆積物

岩内層

標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	記 事
10.43	1.00		シルト混じり砂	茶褐	【深度0~1.00m】上部に植物根混じる。 【深度1.00~7.52m】淘汰の良い中砂。 深度1.00~1.10m：腐植質砂質シルト。
			砂	褐灰	
	3.91	7.52			深度6.66~7.52m：火山灰質砂。* 深度7.20~7.52m：炭質物混じる。 【深度7.52~8.82m】径0.5cm以下の軽石点在。 深度7.64~7.80, 7.93~8.02, 8.17~8.26m：細~中砂。
	2.61	8.82	シルト	黒灰	
			礫混じり砂	暗灰	【深度8.82~10.52m】主に径1cm以下の軽石混じり中砂。 深度9.10~9.20m：径0.5cm以下の礫散在, 1.5cmの軽石とスコリア混じる。 深度9.45~9.61m：腐植質砂質シルト。 深度10.10~10.23m：炭質物点在。
	0.91	10.52	シルト	暗灰	【深度10.52~12.35m】不均一で炭質物及び軽石点在。 深度10.87~11.00m：軽石・シルト混じり砂。
	-0.92	12.35	シルト	暗灰	【深度12.35~12.95m】：軽石質細~中砂。 深度12.75m：礫挟在。 深度12.75~12.95m：軽石・細礫散在する腐植質シルト。 深度12.95m：腐植質土層。
	-1.52	12.95	シルト	暗灰	【深度12.95~14.95m】無層理, 全体に生痕あり。 深度12.95~13.00m：シルト混じり細~粗砂, 層厚1~5cmの軽石混じり腐植質土
	-3.52	14.95	貝混じりシルト	暗灰	【深度14.95~16.75m】貝殻片多く含む。
	-5.32	16.75			【深度16.75~28.10m】淘汰の良い細・中砂が級化を繰り返す。 深度16.90~17.10m, 17.89~18.02m：貝殻片点在。 深度17.43~17.50m：シルト質。 深度17.48~17.70m：径3cmの円礫点在。 深度18.35~18.50m：径0.5cm以下の円礫点在。 深度19.13m：層厚2cmのシルト。

ボーリング柱状図 (深度0~20m)

岩内層

野原層(下部層相当)

標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	記 事
			砂	暗灰	深度19.45~19.58m：層厚0.5~1cmの砂質シルトが綿状をなす。 深度21.76~21.78m：シルト質砂挟在。 深度22.25~22.30m：腐植質部が綿状をなす。 深度23.55~23.58m：シルト質な薄層挟在。 深度25.43~25.47m：粗砂。 深度27.80~28.00m：葉理あり。
	-16.67	28.10	泥質シルト	暗灰	【深度28.10~29.05m】 上・下部は細砂と互層をなす。 深度28.10~28.50m：砂質シルト。
	-17.62	29.05	シルト混じり砂礫	灰 褐灰	【深度29.05~33.69m】平均径2cm程度の円礫と細~粗砂。 最大径5cm, 礫種：安山岩, 緑色岩, チャート, 頁岩。
	-22.26	33.69			【深度33.69~43.00m】淘汰の良い細・中砂で部分的に弱い葉理発達。 深度34.50~34.57m：シルト挟在。 深度34.60~34.70m：粗砂・細礫混じり, 下部に厚さ2cmの炭質物挟在。
			砂	暗灰	深度37.50~37.80m：シルト挟在。

ボーリング柱状図 (深度20~40m)

※ 柱状図には、“火山灰質”と記載されているが、R3.10.14審査会合以降に実施した火山灰分析の結果、主に火山砕屑物からなるものではないと評価した(P181参照)。

凡 例

- シルト
- 貝混じりシルト
- 泥質シルト
- 砂
- シルト混じり砂
- 礫混じり砂
- シルト混じり砂礫
- シルト混じり礫

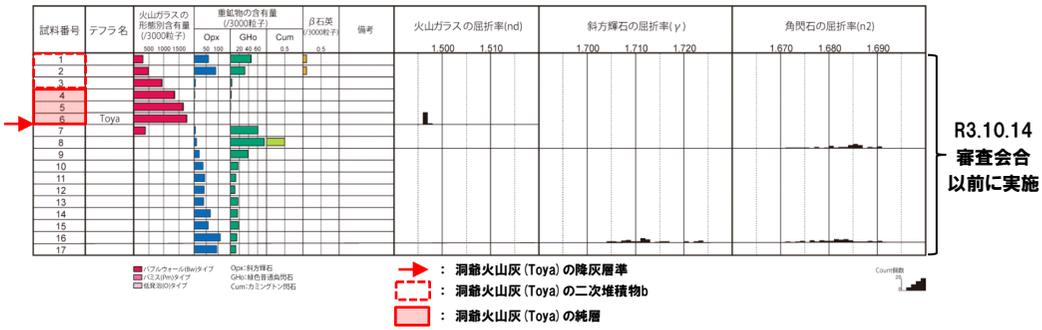
4. 【敷地近傍(II)】岩内平野西部で実施したボーリング調査結果

①-4 梨野舞納地点(火山灰分析結果-梨野舞納露頭-)

一部修正 (H29/3/10審査会合)

【火山灰分析結果(試料採取箇所①)】

- R3.10.14審査会合以前に実施した火山灰分析(組成分析及び屈折率測定)の結果, 洞爺火山灰(Toya)に対比される火山ガラスが認められ, 火山ガラスの粒子数が急増する箇所に降灰層準が認められる(標高24m程度)。
- 火山灰分析の結果, 当該火山灰質砂質シルトのうち, 標高24.35~24.05mについては, 基質部分に洞爺火山灰(Toya)の火山ガラスを多く含む(1000/3000粒子以上)ことから, 洞爺火山灰(Toya)の純層(層厚:30cm)に区分される。
- また, 標高24.65~24.35mについては, 直下に洞爺火山灰(Toya)の純層が認められること及び火山ガラスの粒子数が309~941粒子認められることから, 洞爺火山灰(Toya)の二次堆積物b(層厚:30cm)に区分される。



当該堆積物は, 火山灰分析結果の図において, 降下火砕物由来として示しているが, 火砕サージ由来か降下火砕物由来かを厳密に区分することは難しいと評価している。

火山灰分析試料採取箇所① 火山灰分析結果

火山灰分析試料採取箇所① 露頭柱状図

(参考) 洞爺火山灰の屈折率(町田・新井, 2011より)

特徴	火山ガラス	斜方輝石	角閃石
バブルウォールタイプ・バミスタイプの火山ガラス主体	1.494-1.498	1.711-1.761 (1.758-1.761, 1.712-1.729 bimodal)※	1.674-1.684

※括弧内の値はモードまたは集中度のよい範囲。

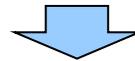
4. 【敷地近傍(Ⅱ)】岩内平野西部で実施したボーリング調査結果

①-4 梨野舞納地点(火山灰分析結果-梨野舞納ボーリング-)

○梨野舞納ボーリングにおいては、柱状図に“火山灰質”の記載がなされている堆積物が、下表のとおり認められる。

深度(m)	標高(m)	層相	柱状図記事(抜粋)
1.00~7.52	10.43~3.91	砂	○深度6.66~7.52m:火山灰質砂。

○本ボーリングにおける上記の堆積物については、R3.10.14審査会合以降に実施した火山灰分析の結果に基づき、地層区分を明確にした。



【深度1.00~7.52m(標高10.43~3.91m):砂】

・深度6.66~7.52mを対象とした火山灰分析(組成分析)の結果、火山ガラスの粒子数が少ない(9~36/3000粒子)ことから、主に火山碎屑物からなるものではなく、火山ガラスが混在する砂に区分される。



火山灰分析結果
(深度6.74~6.75m, 7.06~7.07m, 7.20~7.21m, 7.48~7.50m)

②-1 H26共和-1地点（ボーリングコア写真）（1/4）

一部修正（H27/3/13審査会合）

孔口標高:23.51m



扇状地性堆積物 ← → 発達層

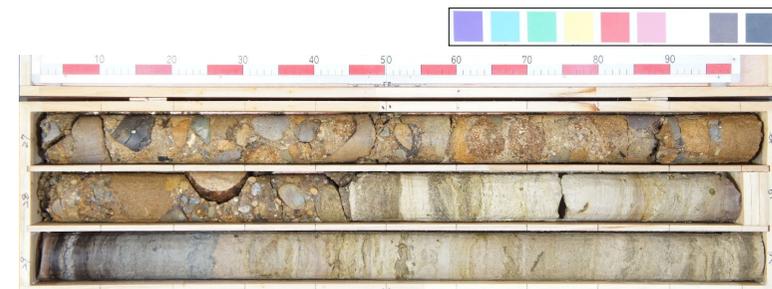
コア写真（深度0～15m）

②-1 H26共和-1地点(ボーリングコア写真)(2/4)

一部修正(H27/3/13審査会合)



コア写真(深度15~30m)



コア写真(深度27~30m)別孔

②-1 H26共和-1地点(ボーリングコア写真)(3/4)

一部修正(H27/3/13審査会合)



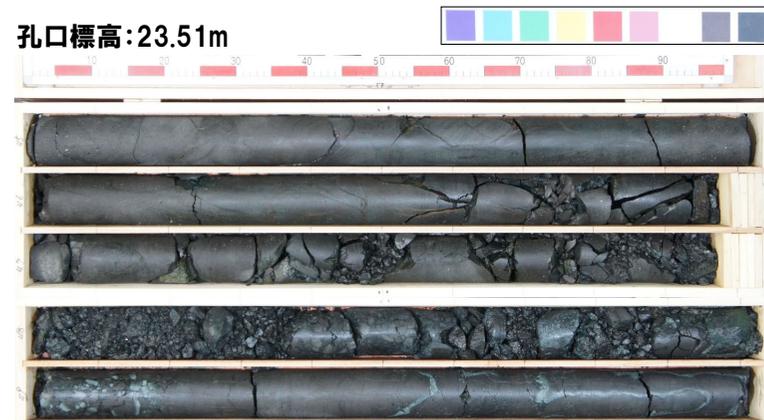
コア写真(深度30~45m)



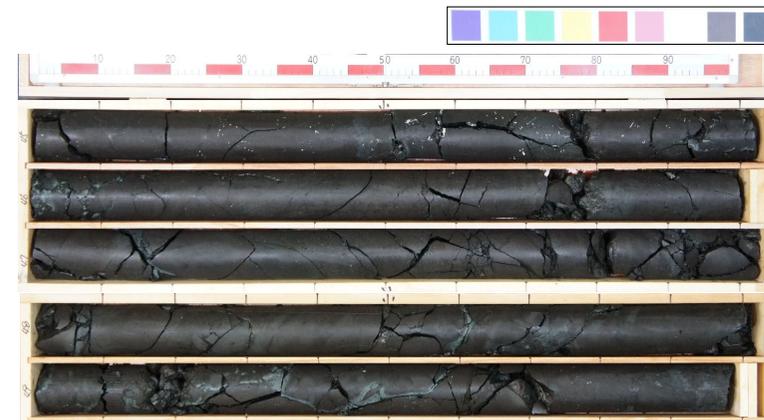
コア写真(深度36~45m)別孔

②-1 H26共和-1地点(ボーリングコア写真)(4/4)

一部修正(H27/3/13審査会合)



コア写真(深度45~50m)



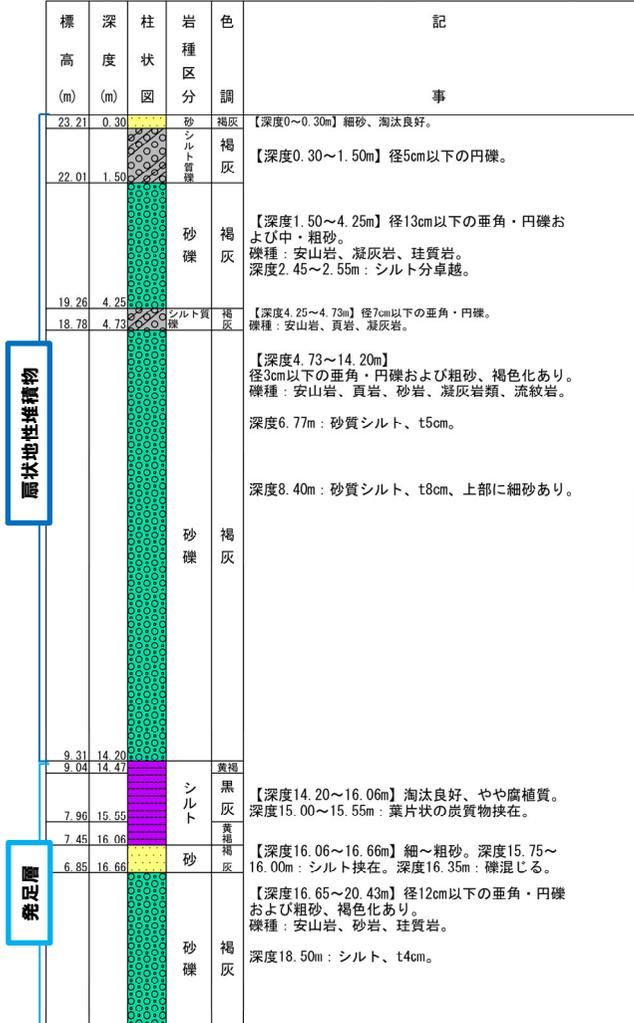
コア写真(深度45~50m)別孔

4. 【敷地近傍(II)】岩内平野西部で実施したボーリング調査結果

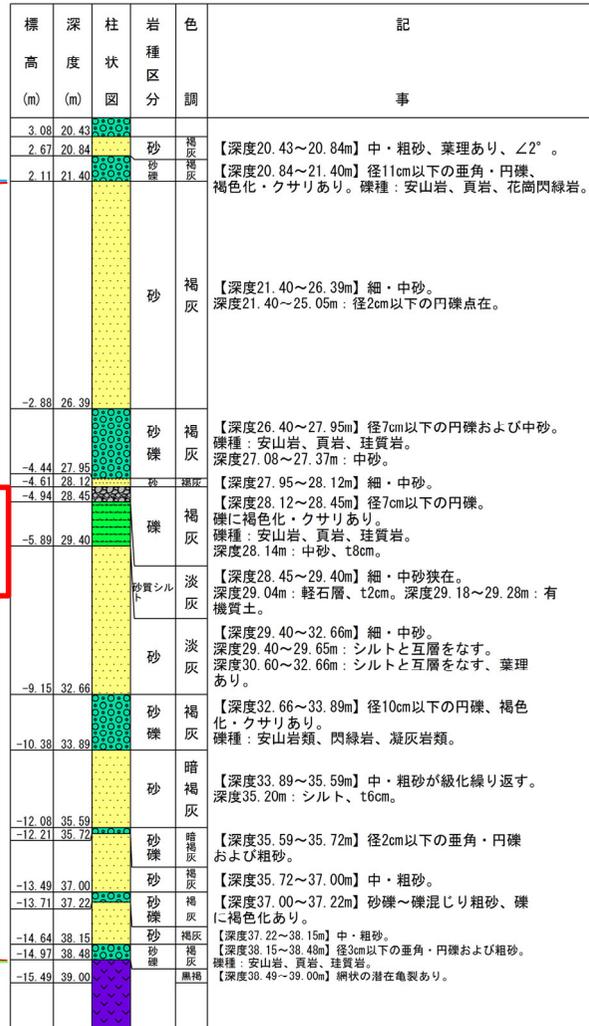
②-2 H26共和-1地点(ボーリング柱状図)

一部修正(H27/5/29審査会合)

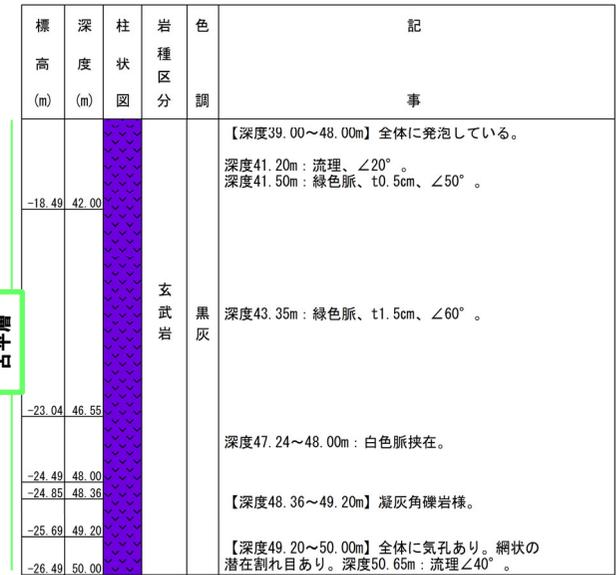
H26共和-1 孔口標高 23.51m 掘進長 50.00m



ボーリング柱状図(深度0~20m)



ボーリング柱状図(深度20~40m)



ボーリング柱状図(深度40~50m)

凡例

- シルト
- 砂質シルト
- 砂
- 砂礫
- シルト質礫
- 礫
- 玄武岩

余白

③-1 H26共和-2地点 (ボーリングコア写真) (1/4)

一部修正 (H27/3/13審査会合)

孔口標高: 12.75m



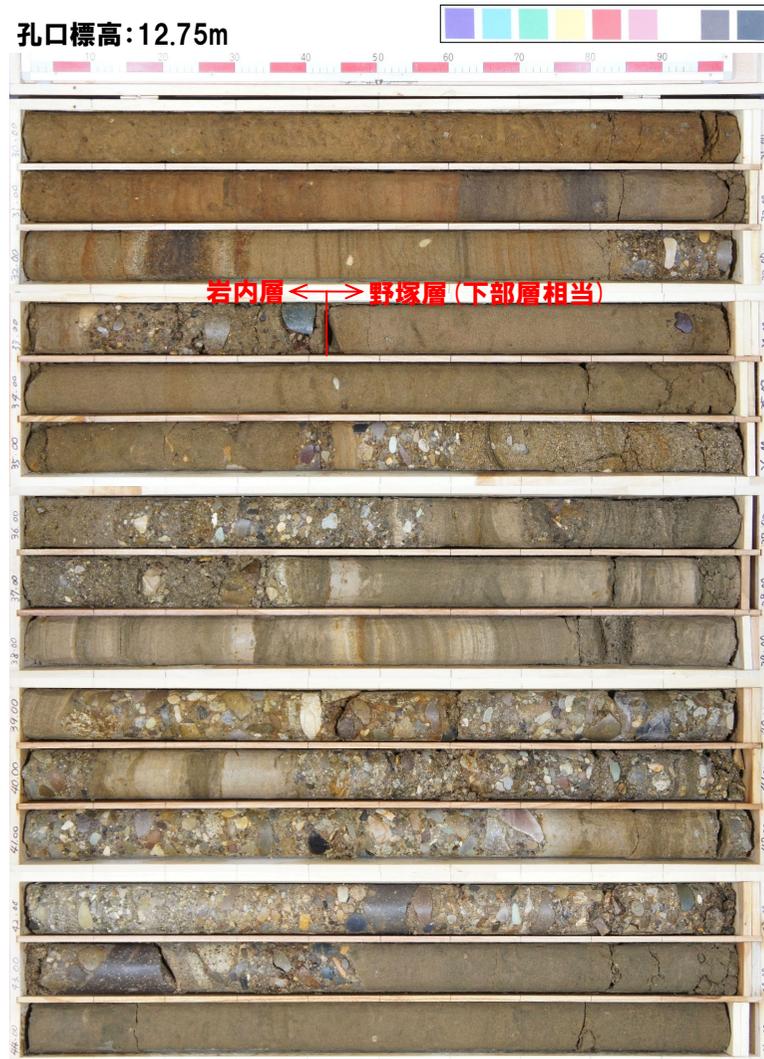
コア写真 (深度0~15m)



コア写真 (深度15~30m)

③-1 H26共和-2地点 (ボーリングコア写真) (2/4)

一部修正 (H27/3/13審査会合)



コア写真 (深度30~45m)



コア写真 (深度45~60m)

③-1 H26共和-2地点 (ボーリングコア写真) (3/4)

一部修正 (H27/3/13審査会合)



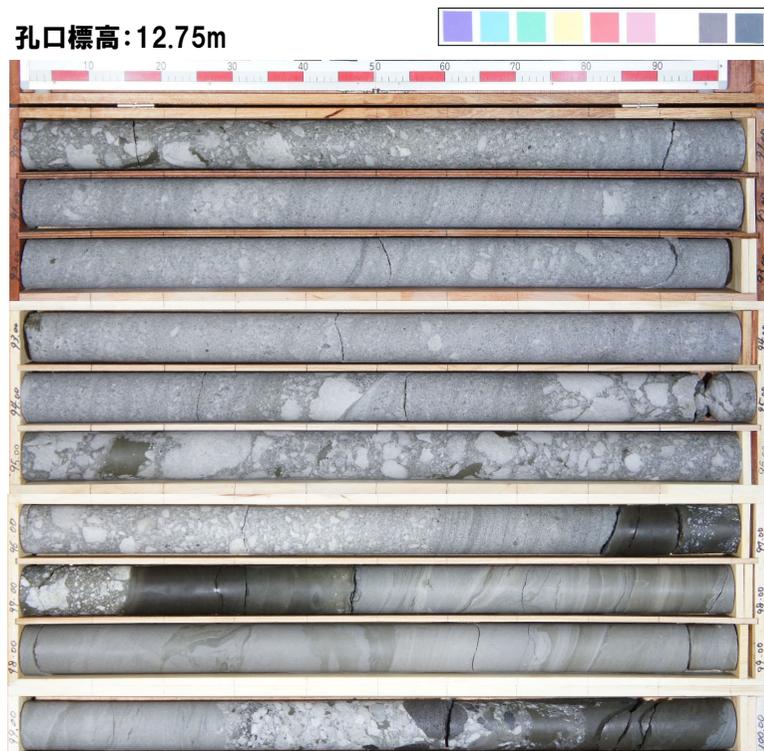
コア写真 (深度60~75m)



コア写真 (深度75~90m)

③-1 H26共和-2地点 (ボーリングコア写真) (4/4)

一部修正 (H27/3/13審査会合)



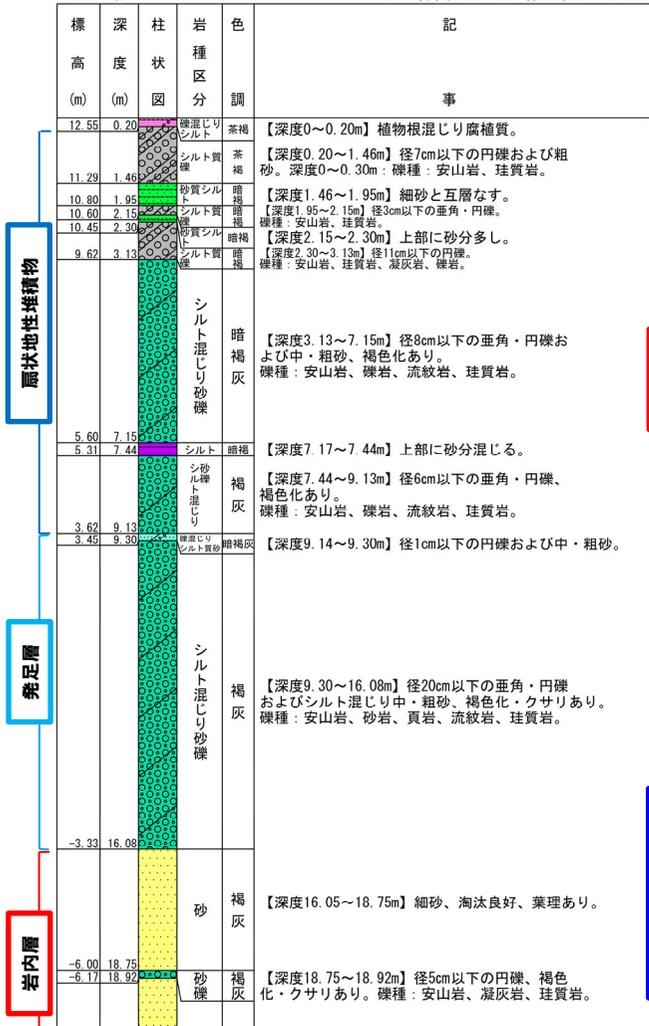
コア写真 (深度90~100m)

4. 【敷地近傍(II)】岩内平野西部で実施したボーリング調査結果

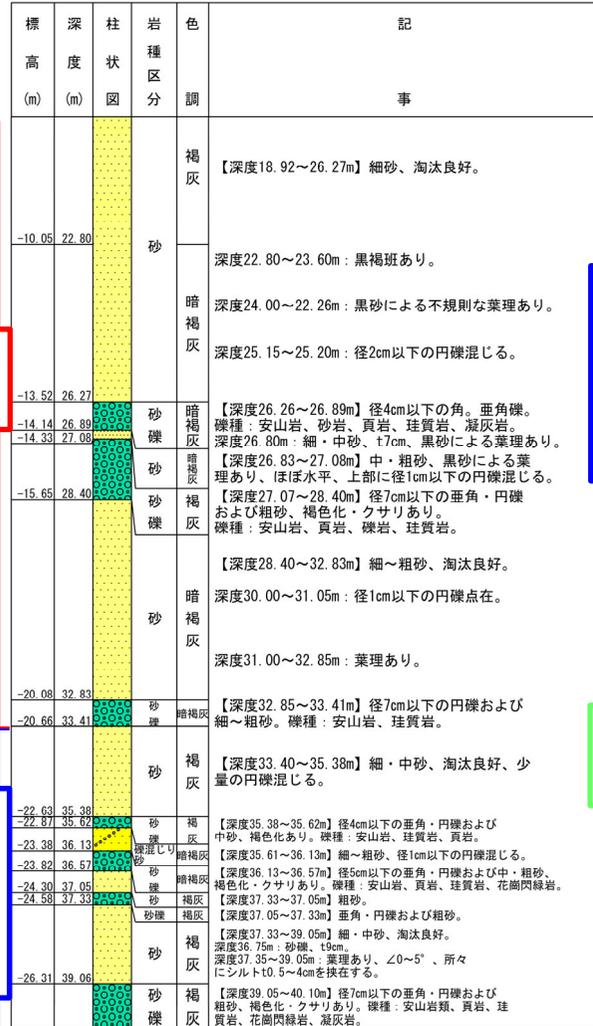
③-2 H26共和-2地点(ボーリング柱状図)(1/2)

一部修正(H27/5/29審査会合)

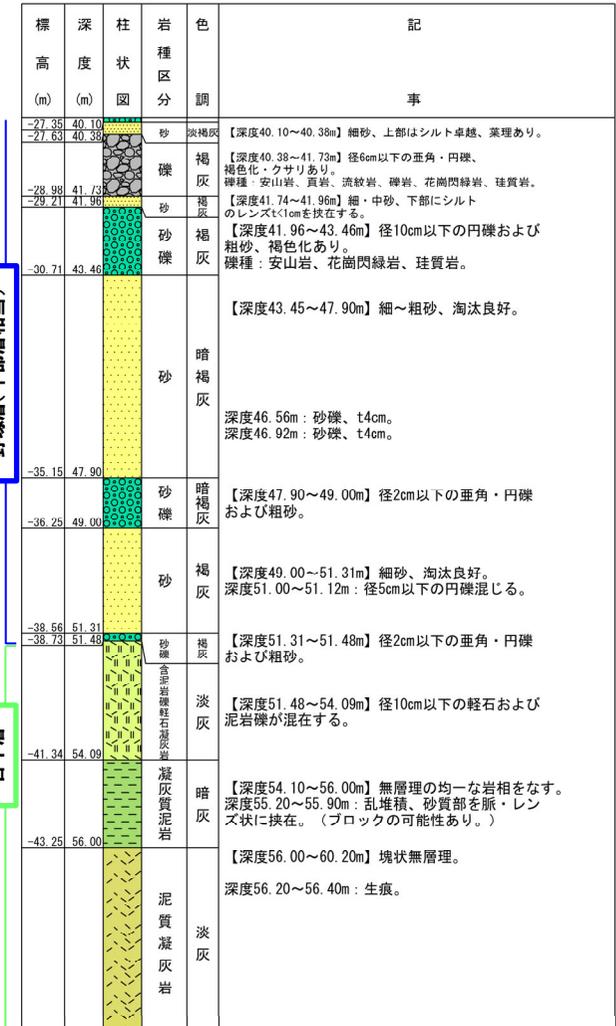
H26共和-2 孔口標高 12.75m 掘進長 100.00m



ボーリング柱状図(深度0~20m)



ボーリング柱状図(深度20~40m)

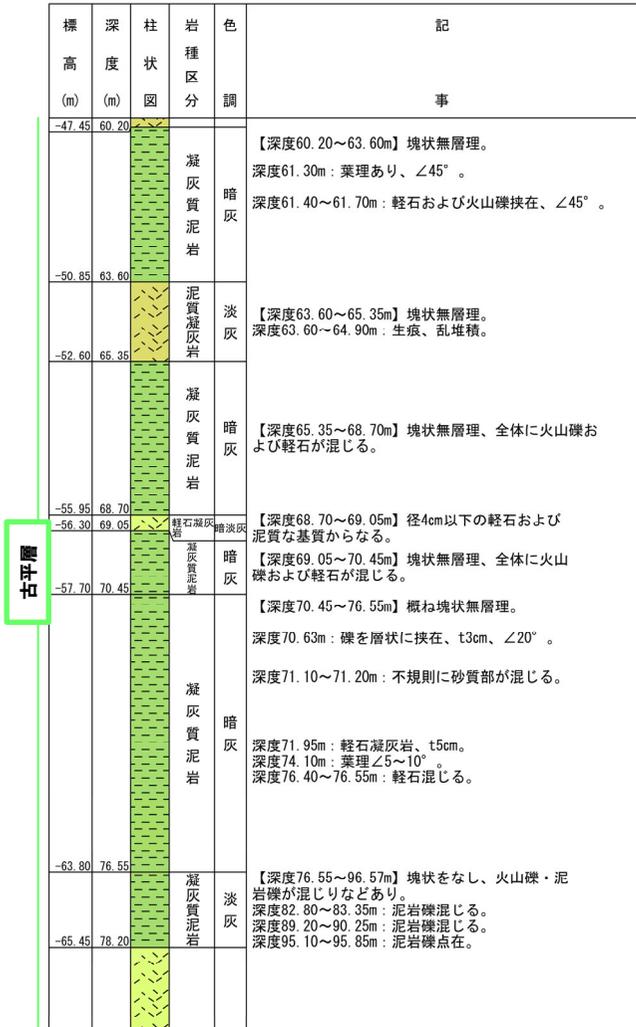


ボーリング柱状図(深度40~60m)

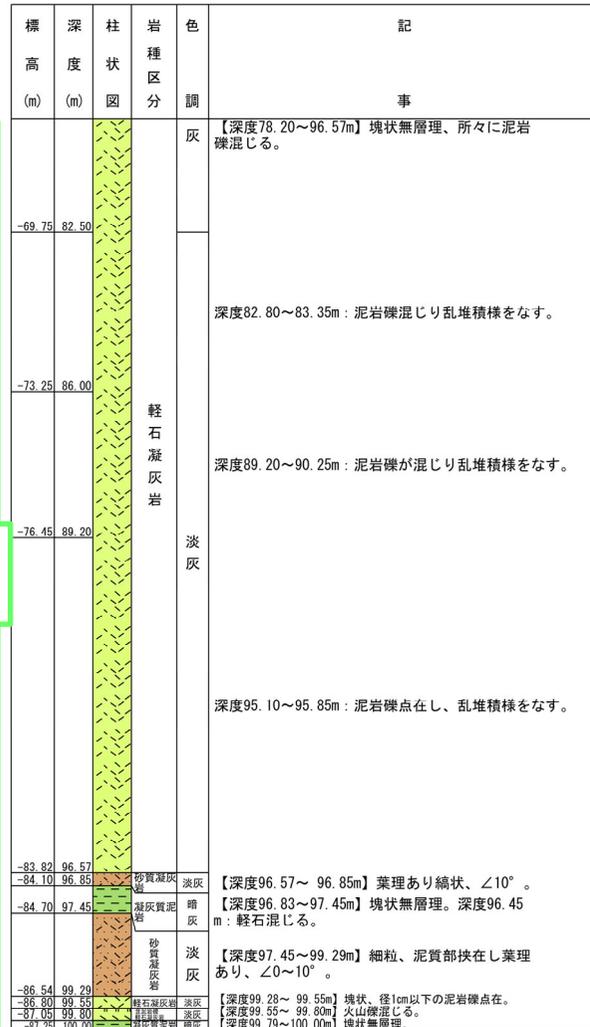
4. 【敷地近傍(II)】岩内平野西部で実施したボーリング調査結果

③-2 H26共和-2地点 (ボーリング柱状図) (2/2)

一部修正 (H27/5/29審査会合)



ボーリング柱状図 (深度60~80m)



ボーリング柱状図 (深度80~100m)

凡 例

- シルト
- 砂質シルト
- 礫混じりシルト
- 砂
- 礫混じり砂
- 礫混じりシルト質砂
- シルト混じり砂礫
- 砂礫
- シルト質礫
- 礫
- 凝灰質泥岩
- 泥質凝灰岩
- 砂質凝灰岩
- 軽石凝灰岩
- 含泥岩礫軽石凝灰岩

④-1 H26共和-3地点（ボーリングコア写真）（1/3）

一部修正（H27/3/13審査会合）



コア写真（深度0～15m）



コア写真（深度15～30m）

④-1 H26共和-3地点 (ボーリングコア写真) (2/3)

一部修正 (H27/3/13審査会合)



コア写真 (深度30~45m)



コア写真 (深度45~60m)

④-1 H26共和-3地点 (ボーリングコア写真) (3/3)

一部修正 (H27/3/13審査会合)

孔口標高:41.13m



コア写真 (深度60~75m)



コア写真 (深度75~90m)

余白

4. 【敷地近傍(II)】岩内平野西部で実施したボーリング調査結果

④-2 H26共和-3地点(ボーリング柱状図)(1/2)

一部修正(H27/5/29審査会合)

H26共和-3 孔口標高 41.13m 掘進長 90.00m

標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	記事
40.98	0.15		礫層質シルト	褐灰	【深度0~0.15m】径2cm以下の垂角礫少量混じる。
			砂礫	褐灰	【深度0.15~3.80m】径16cm以下の垂角・円礫および粗砂。礫種：安山岩、砂岩、花崗閃緑岩。
37.33	3.80		礫混じり砂質シルト	褐灰	【深度3.80~4.17m】径3cm以下の円礫混じる。
36.96	4.17		砂礫	褐灰	【深度4.17~8.18m】径22cm以下の垂角・円礫、褐色化あり。礫種：安山岩、凝灰岩、砂岩、花崗閃緑岩。深度7.10~7.25m：シルト分多し。
32.95	8.18		礫混じり砂質シルト	褐灰	【深度8.20~9.28m】径5cm以下の垂角礫混じる。部分的にt 2~10cmの礫密集部あり。
31.85	9.28		砂礫	黄褐	【深度9.28~9.42m】径6cm以下の垂角・円礫および中砂。礫種：安山岩、砂岩、珪質岩。
31.71	9.42		砂	褐灰	【深度9.42~9.52m】細・中砂、淘汰良好。
31.61	9.52		シルト質礫	褐灰	【深度9.52~10.15m】径5cm以下の垂角礫。
31.48	9.65		シルト質礫	褐灰	【深度10.15~10.32m】淘汰良好。
31.38	9.75		シルト質礫	褐灰	【深度10.32~11.30m】径20cm以下の垂角・円礫、褐色化・クサリあり。礫種：安山岩、珪質岩。
30.98	10.15		シルト質礫	褐灰	【深度10.32~11.30m】径20cm以下の垂角・円礫、褐色化・クサリあり。礫種：安山岩、珪質岩。
30.81	10.32		シルト質礫	褐灰	【深度10.32~11.30m】径20cm以下の垂角・円礫、褐色化・クサリあり。礫種：安山岩、珪質岩。
29.83	11.30		シルト質礫	淡灰	【深度11.30~12.34m】径7cm以下の垂角・円礫、褐色化・クサリあり。礫種：安山岩、凝灰岩、珪質岩。
29.62	11.51		礫混じりシルト	淡灰	【深度12.34~13.17m】径7cm以下の垂角・円礫、褐色化・クサリあり。礫種：安山岩、凝灰岩、珪質岩。
28.79	12.34		砂礫	褐灰	【深度13.17~17.05m】径10cm以下の円礫、褐色化あり。礫種：安山岩、花崗閃緑岩、珪質岩、砂岩。
27.96	13.17		シルト質礫	淡灰	【深度17.05~18.50m】径7cm以下の垂角・円礫、褐色化・クサリあり。礫種：安山岩、花崗閃緑岩、珪質岩。
24.08	17.05		砂礫	褐灰	【深度18.50~18.78m】径5cm以下の垂角・円礫、褐色化・クサリあり。礫種：安山岩、砂岩、珪質岩。
22.63	18.50		砂質シルト	褐灰	【深度18.78~18.91m】上部は、砂分卓越。
22.35	18.78		砂質シルト	褐灰	
22.21	18.91		砂質シルト	褐灰	
21.88	19.25		砂質シルト	褐灰	

ボーリング柱状図(深度0~20m)

標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	記事
19.73	21.40		シルト質粗砂礫	褐灰	【深度18.91~19.25m】径3cm以下の角・垂角礫。礫種：安山岩、珪質岩。
19.58	21.55		砂礫	褐灰	【深度19.25~21.40m】径9cm以下の垂角・円礫および粗砂、褐色化・クサリあり。礫種：安山岩、頁岩、珪質岩。
19.45	21.68		礫混じりシルト	褐灰	【深度21.40~21.55m】径5cm以下の垂角・円礫混じる。
19.33	21.80		砂礫	褐灰	【深度21.55~21.68m】径5cm以下の円礫。礫種：安山岩、凝灰岩、珪質岩。
18.53	22.60		砂礫	褐灰	【深度21.68~22.60m】径5cm以下の垂角・円礫、褐色化・クサリあり。礫種：安山岩、珪質岩。
18.34	22.79		砂質シルト	褐灰	【深度22.60~22.79m】上部は、砂分多し。
18.08	23.05		砂礫	褐灰	【深度22.79~23.05m】径5cm以下の垂角・円礫、褐色化・クサリあり。礫種：安山岩、珪質岩。
17.83	23.30		砂質シルト	褐灰	【深度23.05~23.30m】細砂。
10.71	30.42		砂礫	褐灰	【深度23.30~30.42m】径10cm以下の垂角・円礫および粗砂、褐色化あり。礫種：安山岩、花崗閃緑岩、砂岩、珪質岩。
8.43	32.70		砂	褐灰	【深度30.42~32.70m】細砂、淘汰良好、黒褐斑あり。
7.42	33.71		砂礫	褐灰	【深度32.70~33.71m】径4cm以下の垂角・円礫および中・粗砂。礫種：安山岩、頁岩、珪質岩、凝灰岩。
7.25	33.88		砂	褐灰	【深度33.71~33.88m】中砂、淘汰良好。
6.46	34.67		砂礫	褐灰	【深度33.88~34.67m】径4cm以下の円礫、褐色化あり。礫種：安山岩、頁岩、珪質岩。深度33.48m：中・粗砂、t5cm。
4.95	36.18		砂	褐灰	【深度34.67~36.18m】細砂、良好。
4.74	36.39		砂	褐灰	【深度36.18~36.39m】径4cm以下の垂角・円礫、褐色化あり。礫種：安山岩、凝灰岩、珪質岩。
4.58	36.55		砂礫	褐灰	【深度36.39~37.49m】径2cm以下の円礫および中・粗砂、褐色化あり。深度35.42~36.03m：径3cm以下の円礫混じる。
3.64	37.49		砂	褐灰	【深度37.49~38.55m】中砂、淘汰良好。
3.43	37.70		砂	褐灰	【深度38.55~39.70m】径2cm以下の円礫および中・粗砂、褐色化あり。深度36.96m：中砂、t6cm。深度37.20m：中砂、t5cm。
2.73	38.40		砂	褐灰	【深度39.70~40.00m】細・中砂。径1cm以下の角礫が少量混じる。

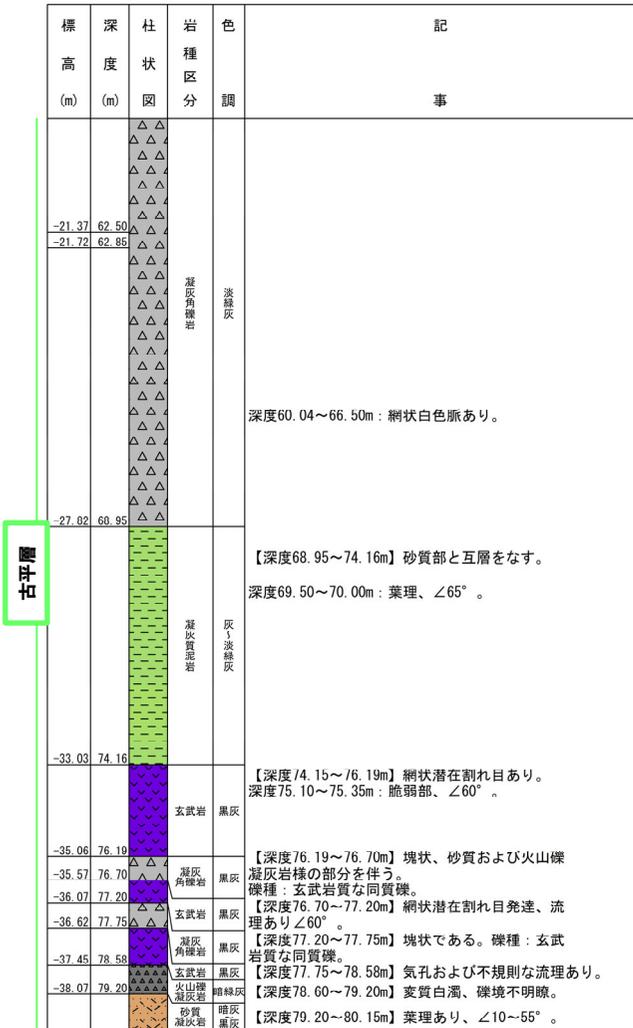
ボーリング柱状図(深度20~40m)

標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	記事
			砂礫	褐灰	【深度37.70~38.40m】径2.5cm以下の円礫および粗砂、褐色化あり。礫種：安山岩、珪質岩。
			砂	褐灰	【深度38.40~54.90m】細砂、淘汰良好、全体に黒褐斑あり。
			砂	褐灰	【深度47.70~50.32m】中砂。
			砂	褐灰	【深度48.20~49.30m】径1cm以下の垂角・円礫点。
			砂礫	褐灰	【深度50.35m】砂礫、t6cm。
-13.77	54.90		砂礫	褐灰	【深度54.38~54.71m】粗砂~礫混じり粗砂。
-14.17	55.30		砂礫	褐灰	【深度54.90~55.30m】径11cm以下の円礫、褐色化あり。礫種：安山岩、花崗閃緑岩、凝灰岩、珪質岩。
-15.17	56.30		砂	褐灰	【深度55.30~56.30m】中砂、淘汰良好。
-15.70	56.83		砂礫	褐灰	【深度56.05~56.30m】少量の垂角・円礫混じる。
			砂	褐灰	【深度56.30~56.83m】径14cm以下の垂角・円礫、褐色化あり。礫種：安山岩、花崗閃緑岩、凝灰岩、珪質岩。
			砂	褐灰	【深度56.83~59.16m】中・粗砂。
-18.03	59.16		砂	褐灰	【深度59.15~68.95m】塊状、径10cm以下の玄武岩質な同質礫からなる
			砂	褐灰	【深度59.18~60.04m】変質・白濁し、境界不明瞭。

ボーリング柱状図(深度40~60m)

④-2 H26共和-3地点 (ボーリング柱状図) (2/2)

一部修正 (H27/5/29審査会合)



ボーリング柱状図 (深度60~80m)



埋付柱

ボーリング柱状図 (深度80~90m)

凡 例

- [Pattern: シルト] シルト
- [Pattern: 凝灰角礫岩] 凝灰角礫岩
- [Pattern: 腐植質シルト] 腐植質シルト
- [Pattern: 火山礫凝灰岩] 火山礫凝灰岩
- [Pattern: 砂質シルト] 砂質シルト
- [Pattern: 凝灰質泥岩] 凝灰質泥岩
- [Pattern: 礫混じり砂質シルト] 礫混じり砂質シルト
- [Pattern: 砂質凝灰岩] 砂質凝灰岩
- [Pattern: 礫混じりシルト] 礫混じりシルト
- [Pattern: 玄武岩] 玄武岩
- [Pattern: 砂] 砂
- [Pattern: 砂岩] 砂岩
- [Pattern: シルト混じり砂] シルト混じり砂
- [Pattern: シルト混じり砂礫] シルト混じり砂礫
- [Pattern: 砂礫] 砂礫
- [Pattern: シルト質礫] シルト質礫

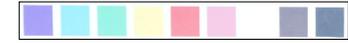
⑤-1 H26共和-4地点 (ボーリングコア写真) (1/4)

一部修正 (H27/5/29審査会合)

孔口標高: 11.89m



コア写真 (深度0~15m)



コア写真 (深度15~30m)

扇状地性
堆積物

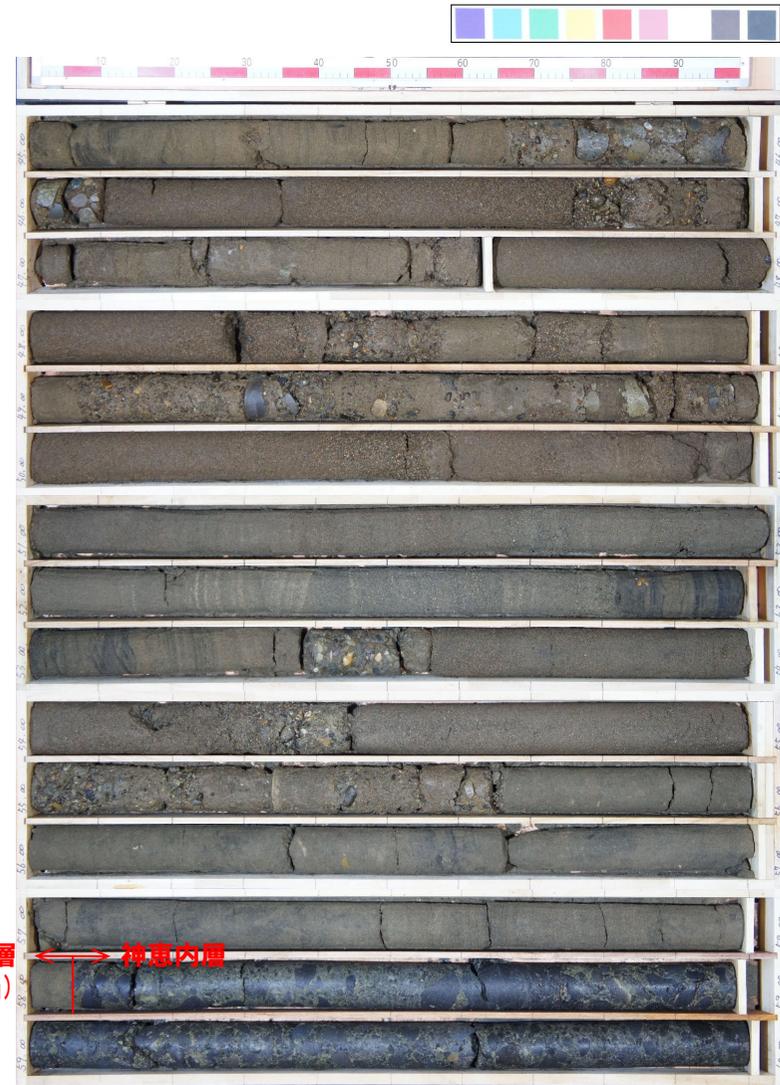
岩内層

⑤-1 H26共和-4地点 (ボーリングコア写真) (2/4)

一部修正 (H27/5/29審査会合)



コア写真 (深度30~45m)



コア写真 (深度45~60m)

⑤-1 H26共和-4地点 (ボーリングコア写真) (3/4)

一部修正 (H27/5/29審査会合)



コア写真 (深度60~75m)



コア写真 (深度75~90m)

⑤-1 H26共和-4地点 (ボーリングコア写真) (4/4)

一部修正 (H27/5/29審査会合)

孔口標高: 11.89m



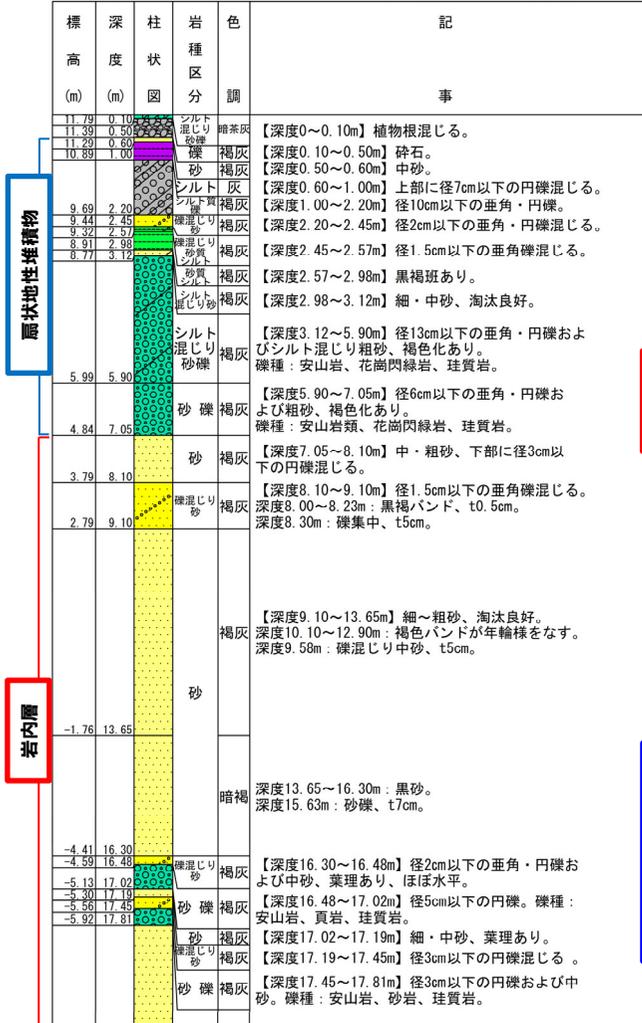
コア写真 (深度90~100m)

4. 【敷地近傍(II)】岩内平野西部で実施したボーリング調査結果

⑤-2 H26共和-4地点 (ボーリング柱状図) (1/2)

一部修正 (H27/5/29審査会合)

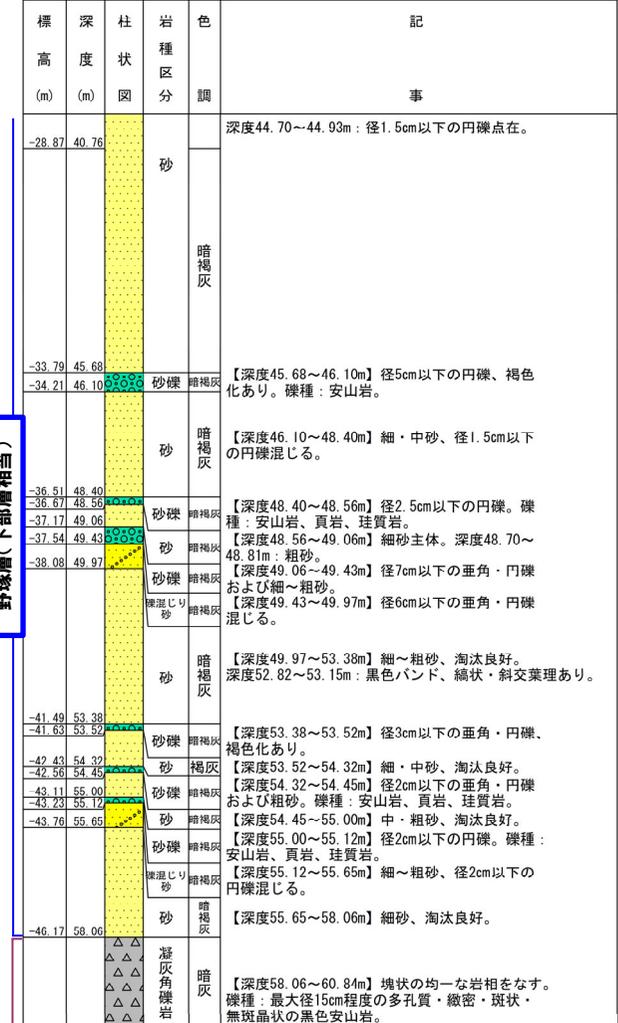
H26共和-4 孔口標高 11.89m 掘進長 100.00m



ボーリング柱状図 (深度0~20m)



ボーリング柱状図 (深度20~40m)

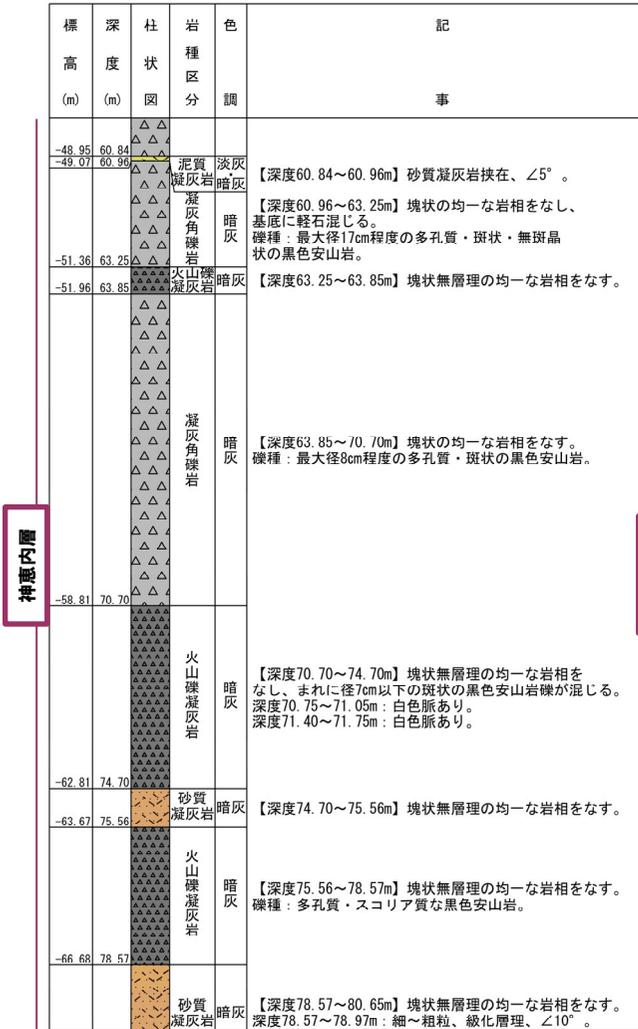


ボーリング柱状図 (深度40~60m)

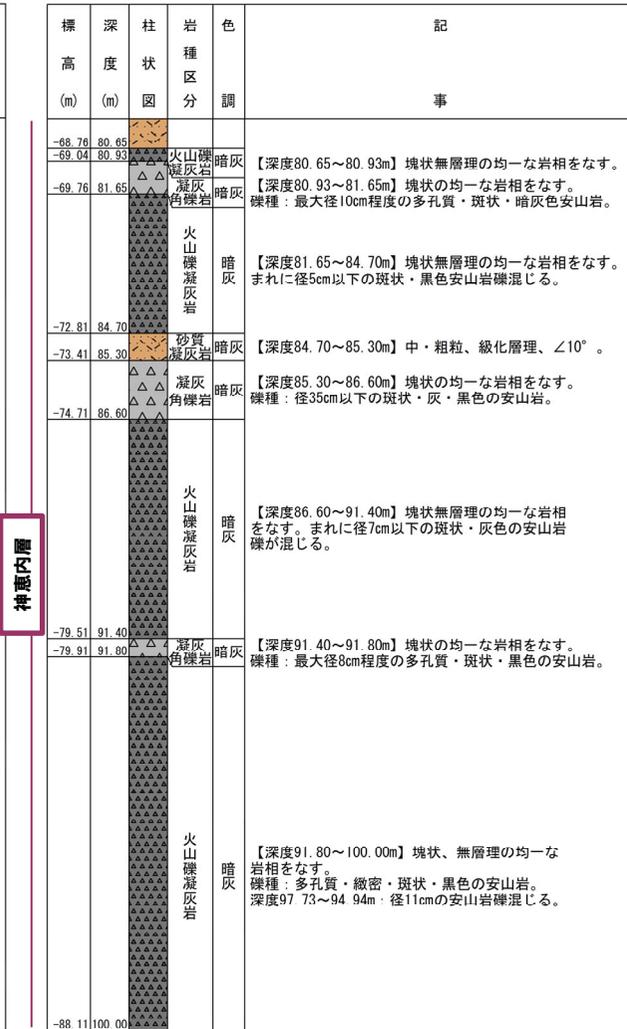
4. 【敷地近傍(II)】岩内平野西部で実施したボーリング調査結果

⑤-2 H26共和-4地点 (ボーリング柱状図) (2/2)

一部修正 (H27/5/29審査会合)



ボーリング柱状図 (深度60~80m)



ボーリング柱状図 (深度80~100m)

凡例

- [Pattern] 腐植質土
- [Pattern] 凝灰角礫岩
- [Pattern] シルト
- [Pattern] 火山礫凝灰岩
- [Pattern] 腐植質シルト
- [Pattern] 泥質凝灰岩
- [Pattern] 砂質シルト
- [Pattern] 砂質凝灰岩
- [Pattern] 礫混じり砂質シルト
- [Pattern] 砂
- [Pattern] シルト質砂
- [Pattern] シルト混じり砂
- [Pattern] 礫混じり砂
- [Pattern] シルト混じり砂礫
- [Pattern] 砂礫
- [Pattern] シルト質礫
- [Pattern] 礫